

貴志南っ子

7月

平成30年7月2日



「アイ・メッセージ」

○6月の授業参観、学級懇談会では多数ご参加いただきありがとうございました。懇談会でいただいたご意見や提案等は学年だよりや担任を通じてお伝えするようにします。また、1年生の希望保護者対象の「給食試食会」へのご参加やその準備や運営をしていただいた担当育友会の皆様、ありがとうございました。

○タイトルの『アイ・メッセージ』は『わたしメッセージ』とも呼ばれ、あるキッズカウンセラーさんと関わった時に教えてもらったうちの一つです。「なるほど!」と感心したので、自分自身も心掛けていますし、本校の先生たちにも子どもに接するときのポイントの一つとして伝えています。



○たとえば、我が子が遊びに出てあって帰宅が遅くなったとき、どんなふう
に注意するでしょうか。そのカウンセラーさんは、子どもが心を閉ざす話

し方として「今何時やと思ってるんや!」等をあげていました。一方、子どもの心に届く話し方として「心配してたんやで」を教えてくださいました。

○前者の主語は「ひろしは」というように我が子(相手)であり、『あなたメッセージ』というのだそうです。「叱られた、理由も聞いてくれない」とひろし君は受け取ることでしょう。

○後者の主語は「私は(お母さんは)」であり、聞いた子どもは「あ〜、心配してくれていたんだ」と受け止める『アイ(わたし)メッセージ』というのだそうです。前者も後者も親がうろたえるぐらいに心配しているのは変わらないのに、話し方で子どもへの届き方が違うのです。

○「(ひろしは)TVのリモコン、使ったらちゃんと片づけなあ!」より「リモコンなかったんで、(お母さんは)TVを消せずに、困ったわ」というようでしょうか。

○子どもは生まれた家庭において、各々がコミュニケーションの方法を学びます。そして初めての社会である幼稚園・保育所、小学校に入ってきます。自分が獲得したコミュニケーションの方法を使って人との関係を築いていくのです。

○低学年でも、伝え方がうまい子は「それを言われると私は嫌なん!だから言わんといて」と見事に『アイ・メッセージ』で友達に話しています。

○今月21日から、長い夏休み。子どもとの会話も増えることと思います。機会があれば、『アイ・メッセージ』を試してみたいかがでしょう。

《校長 犬塚 博志》

★貴志南小学校では、ホームページを設けています。<http://www.wakayama-wky.ed.jp/kishiminami/>

※写真等は児童個人を特定できないように配慮しています。